

ふりがな 氏 名	やまだ ゆうこ 山田 裕子	職 名	准教授
取 得 学 位	博士(保健学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	(医療関係法、基礎ゼミナール、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学管理論、公衆衛生看護学活動展開論、公衆衛生援助論Ⅰ、公衆衛生援助論Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ、地域看護学概論、看護学研究ゼミナール、地域ふれあい実習、地域コミュニケーション論(健康栄養学科):令和3、4年度担当)		
所 属 学 会	日本公衆衛生学会、日本睡眠学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生看護学会、日本小児保健学会、日本ヒューマン・ヘルスケア学会(評議員:平成29年9月～令和2年9月)など		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
医療関係法(名古屋女子大学健康科学部看護学科1年)	令和元～3年9～10月 令和4年9～10月	オムニバスにて4回分担当 1.法の概念、2.衛生法の意義、3.保健衛生法、4.労働法と社会基盤
公衆衛生看護学概論(名古屋女子大学健康科学部看護学科3年保健師コース)	令和3年4～7月、令和4年4～7月	全15回担当 公衆衛生看護の理念、歴史的変遷、対象と場の特性、活動方法、地域診断、事業計画、関連法規
公衆衛生看護学管理論(名古屋女子大学健康科学部看護学科3年保健師コース)	令和3年4～7月、令和4年4～7月	全15回担当(ゲストスピーカーによる話題提供2回を含む) 公衆衛生看護管理の意義、しくみ、感染症や災害などの健康危機管理
公衆衛生看護学活動展開論(名古屋女子大学健康科学部看護学科3年保健師コース)	令和3年4～7月、令和4年4～7月	オムニバスにて11回分担当(ゲストスピーカーとして難病当事者とその家族の参加1回を含む) 1～3 母子保健、4・5 成人保健、6・7 高齢者保健、8 健康づくり、9・10 精神保健、11 難病保健
公衆衛生援助論Ⅰ(名古屋女子大学健康科学部看護学科3年保健師コース)	令和3年4～7月、令和4年4～7月	全30回担当 公衆衛生看護活動の基本的な技術として、保健指導、家庭訪問、健康教育、健康相談、地区組織化、地域ケアシステムの構築などの知識と技術
公衆衛生援助論Ⅱ(名古屋女子大学健康科学部看護学科4年保健師コース)	令和4年4～7月	全30回担当 公衆衛生看護活動の理論を用いた公衆衛生看護学活動展開を演習で学ぶ 地域診断、学校保健、産業保健、母子保健活動
公衆衛生看護学実習Ⅰ(名古屋女子大学健康科学部看護学科4年保健師コース)	令和4年4～10月	学生毎に3単位の実習を担当(実習地は2か所を担当、及び3か所を共同で担当) 市町村における公衆衛生看護学活動 保健事業の参加、健康教育の実施、家庭訪問の体験など

事 項	実 施 年月(日)	概 要
公衆衛生看護実習Ⅱ(名古屋女子大学健康科学部看護学科4年保健師コース)	令和4年4月～10月	学生毎に2単位の実習を担当 ヘルスプロモーションの理念に基づいた活動 保健所、産業保健、学校保健、健康増進施設など他職種連携、協働など
看護学研究ゼミナール(健康科学部看護学科4年)	令和4年4月～10月	全30回担当(公衆衛生看護学領域としてゼミを行ったため、野中助教の担当学生のゼミも担当した) クリティーク、研究方法の明確化、研究計画作成、公衆衛生看護研究、論文作成
地域看護学概論(名古屋女子大学健康科学部看護学科1年)	令和4年11月～令和5年1月	全8回担当 地域看護学の枠組みと理念、健康の社会的決定要因、地域包括ケアシステム、国際協力
地域ふれあい実習(健康科学部看護学科1年生)	令和5年2月～3月	1単位実習を2クール担当 地域の生活者を支える看護職を理解する目的で、子育て支援拠点における看護職を中心とした多職種連携
地域コミュニケーション論(名古屋女子大学健康科学部健康栄養学科3年)	令和3年9月～令和4年1月、令和4年9月～令和5年1月	全15回担当 地域における健康づくりについて、住民の社会参加を促す各自治体の取り組みや地域社会の活性化、ソーシャルキャピタル
基礎ゼミナール(名古屋女子大学健康科学部1年)	令和3年9月～令和4年1月	全15回担当 アカデミックスキルの向上にとどまらず、学生各自の生活習慣や学習効果につながるよう、大学生の睡眠を題材にゼミナールを実施。昼休みを活用したカフェイン摂取と仮眠について文献検索、実験、考察、まとめを行った。
環境保健論Ⅱ(愛知県立総合看護専門学校3年)	平成31年4月～令和3年12月、令和4年5～12月	ヘルスプロモーションの視点から、地域保健活動を中心とした看護職の役割と機能について全7回

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	子どもの健康と安全 <ISBN978-4-521-74777-4>	共	令和元年 9月	中山書店	編集:大西文子 著者:飯田大輔、遠藤幸子、奥水めぐみ、神道那実、鳥居賀乃子、増尾美帆、 <u>山田裕子</u> 全215ページ中、第3章小児の健康と子育てに必要な養護・しつけ 3. 基本的な生活習慣の確立(p.49-56) 4. 日常生活に必要な養護(p.68,69,77), 第4章小児の事故とその予防 1. 小児の事故の特徴(p.80-83), 第7章児童虐待 3. 児童虐待への対処(p.192-194), 第9章地域との連携 1. 子どもにかかわる地域ネットワーク・システム(p.204,205) 2. 保護者と地域における専門職との連携・協働(208-211)
	今からスタート! 予想看護国試問題でパワーアップ 初版 <ISBN978-4-907176-99-0>	共	令和3年8月	サイオ出版	編集:内藤直子 著者: <u>山田裕子</u> 、石井英子、杉下佳文、山本純子他56名 全9領域(全403頁)中、7在宅看護学(p334~337)
	子どもの健康と安全 改定第2版 <ISBN978-4-521-74977-8>	共	令和4年11月	中山書店	編集:大西文子 著者:飯田大輔、遠藤幸子、岡田摩理、奥水めぐみ、神道那実、鳥居賀乃子、増尾美帆、 <u>山田裕子</u> 全215ページ中、第3章子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけ 3. 基本的な生活習慣の確立(p.49-56) 4. 日常生活に必要な養護(p.68,69,77), 第4章子どもの事故とその予防 1. 子どもの事故の特徴(p.80-83), 第7章児童虐待 3. 児童虐待への対処(p.192-194), 第9章地域との連携・協働 1. 子どもにかかわる地域ネットワーク・システム(p.204,205) 2. 保護者と地域における専門職との連携・協働(208-211)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	日本人男性を夫にもつ子育て中の アジア系外国人女性が家族との関 係で抱く困難感	共	平成 30 年 8 月	Journal Wellness and Health Care Vol.42(1)	網谷 華、表志津子、岡本理恵、 <u>山田裕子</u> p.75-84
	1 歳 6 か月児を持つ母親の育児仲 間の実態と育児仲間の有無に関連 する要因	共	令和 2 年 2 月	Journal Wellness and Health Care Vol.43(2)	宮野幸子、石渡丈子、表志津 子、岡本理恵、中田(市森)明 恵、高橋裕太郎、 <u>山田裕子</u> p.65-73
	Subjective and objective assessment of sleep behaviors of Japanese mothers and their 5- to 7-month- old infants (母親とその 5-7 か月児 の睡眠行動の主観的および客観 的評価)	共	令和 3 年 2 月	Journal of Wellness and Health Care Vol.44 (2)	<u>山田裕子</u> 、表志津子 p35-44
	The association between the interpersonal attitudes of mothers with infants in Japan and their desire for childcare support Services (乳幼児を持つ母親の対人態度と 子育て支援サービスへの要望との 関連)	共	令和 5 年 2 月	Journal of Wellness and Health Care Vol.46 [2]	宮野幸子、岡本理恵、 <u>山田裕子</u> P37-48
学会発表	5～7 か月児を養育する母親の睡 眠の主観的及び客観的評価 (示 説)	共	令和元年 11 月	第 39 回日本看護科学学 会 (金沢)	<u>山田裕子</u> 、表志津子
	母親と 5 ～ 7 か月児の睡眠の現 状と母親の眠りに対する思い (示説)	共	令和 3 年 9 月	日本睡眠学会第 46 回 定期学術集会 (福岡)	<u>山田裕子</u> 、表志津子、宮野幸子
	1 歳 6 か月児を持つ母親の対人態 度と子育て支援 サービスへの期 待との関連 (示説)	共	令和 3 年 12 月	第 80 回日本公衆衛生学 会 (東京)	宮野幸子、岡本理恵、 <u>山田裕子</u>
	新型コロナウイルス感染症流行 下における地域住民の健康観の 変化 (口演：オンデマンド)	共	令和 4 年 1 月	第 32 回日本疫学会学術 総会 (東京)	大和谷りつ子、 <u>山田裕子</u> 、宮野 幸子
	子育て期の母親の睡眠の実態と 睡眠中断に対する意識	共	令和 4 年 7 月	日本睡眠学会第 47 回定 期学術集会 (京都)	<u>山田裕子</u> 、宮野幸子、表志津子